

令和7年度 事業報告・決算（概要版）

1. 法人全体

事業報告（法人本部）	P 1
財産目録	P 2
法人単位資金収支計算書	P 3
法人単位事業活動計算書	P 4
法人単位貸借対照表	P 5

2. 拠点区分（事業報告、事業活動計算書）

1) おおすか苑	P 6～P 12
2) 山崎デイサービス （令和7年4月より休止の為 事業活動計算書のみ）	P 13
3) 地域密着サービス	P 14～P 16
4) よこすか ぬく森こども園	P 17～P 18
5) おおぶち そよ風こども園	P 19～P 20

3. 資金収支内訳表

（サービス区分）	P 21
----------	------

法人本部

1. 理事会・評議員会などの開催について

- ・評議員選任・解任委員会（令和7年5月29日開催 委員5名出席）
 - （1）評議員選任について
- ・定時評議員会（令和7年6月18日開催 評議員7名・理事3名・監事2名出席）
 - （1）理事の選任について
 - （2）監事の選任について
 - （3）令和6年度 計算書類及び財産目録の承認について
- ・評議員研修会（令和7年7月2日開催 評議員7名・理事2名出席）
 - （1）評議員の役割・権限について
 - （2）実施事業について 各施設視察
- ・臨時評議員会（令和7年12月12日開催 評議員7名・理事3名・監事2名出席）
 - （1）定款変更について
- ・第1回理事会（令和7年5月27日開催 理事5名・監事2名出席）
 - （1）令和6年度 事業報告の審議承認について
 - （2）令和6年度 計算書類等の審議承認について
 - （3）定時評議員会の招集について
 - （4）理事候補者及び監事候補者の推薦について
 - （5）評議員選任・解任委員へ提出する評議員候補者（案）の承認について
 - （6）給与規程の一部改正について
- ・第2回理事会（令和7年6月18日開催 理事6名・監事2名出席）
 - （1）理事長の選任について
- ・第3回理事会（令和7年7月29日開催 理事6名・監事2名出席）
 - （1）令和7年度 一般会計第1次補正予算（案）審議承認について
 - （2）よこすかぬく森こども園 隣地の取得について
 - （3）職員給与規程及び臨時職員給与規程の一部改正について
 - （4）苦情解決要綱の一部改正について
- ・第4回理事会（令和7年9月16日開催 理事5名・監事2名出席）
 - （1）令和7年度 一般会計第2次補正予算（案）審議承認について
 - （2）老人デイサービスセンター（通所介護事業）山崎デイサービスセンターの廃止について
- ・第5回理事会（令和7年11月27日開催 理事6名・監事2名出席）
 - （1）令和7年度 一般会計第3次及び第4次補正予算（案）審議承認について
 - （2）臨時評議員会の招集について
 - （3）定款変更について
 - （4）諸規程の一部改正について ①就業規則 ②給与規程
- ・第6回理事会（令和8年1月27日開催 理事6名・監事2名出席）
 - （1）令和7年度 一般会計第5次補正予算（案）審議承認について
 - （2）就業規則の一部改正について
- ・第7回理事会（令和8年3月17日開催 理事6名・監事2名出席）
 - （1）令和7年度 一般会計第6次補正予算（案）審議承認について
 - （2）令和8年度 経営方針並びに各事業計画（案）審議承認について
 - （3）令和8年度 一般会計予算（案）審議承認について
 - （4）令和8年度 資金運用計画の承認について
 - （5）幼保連携型認定こども園園則（運営規程）の一部改正について
 - （6）諸規程の一部改正について ①就業規則（育児・介護休業等に関する規則） ②給与規程

2. 監査等の実施

- ・令和7年5月13日 法人監事による令和6年度事業報告及び決算監査を施行
- ・令和7年8月27日 掛川市による実地指導（掛川市南部大須賀地域包括支援センター）
- ・令和7年11月12日 法人監事による令和7年度上半期事業報告及び仮決算監査を施行
- ・令和8年1月20日 掛川市による特定教育・保育施設等指導監査（よこすかぬく森こども園）
- ・令和8年1月23日 静岡県による私営幼保連携型認定こども園指導監査（おおぶちそよ風こども園）
- ・令和8年1月 書面 静岡県による私営幼保連携型認定こども園指導監査（よこすかぬく森こども園）
- ・令和8年1月29.30日 掛川市による社会福祉法人に対する指導監査

3. 登記関係

- ・資産の変更登記 令和7年6月25日登記（31億5702万2424円）
- ・役員に関する事項登記 令和7年6月25日登記（理事長重任）

4. 定款変更

- ・定款別表の（2）建物（3）土地の山崎デイサービスセンター分を削除 令和8年1月7日認可

財産目録
令和8年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
I 資産の部						
1 流動資産						
現金預金	静岡銀行大須賀支店他		運転資金として			206,714,603
事業未収金	静岡県国保連他		2, 3月介護報酬等			107,222,796
未収金			職員給食費 3月分			301,320
未収補助金	掛川市他		利用者負担軽減事業費補助金 他			14,911,232
立替金			特養入所者3月分医療代 他			83,860
前払金			OKIワーク会費4.5.6月分 他			302,400
前払費用			県栄養士会会費、AEDリース 他			35,080
仮払金			職員給与税金			10,000
流動資産合計				0	0	329,581,291
2 固定資産						
(1) 基本財産						
土地	(おおすか苑拠点) 掛川市大淵4353他		第1種社会福祉事業である、おおすか苑施設等に使用している			41,059,799
	(おおぶち そよ風こども園拠点) 掛川市大淵4386-1他		第2種社会福祉事業である、おおぶちそよ風こども園施設等に使用している			63,631,612
	(地域密着型サービス拠点) 掛川市大淵4386-1他		第2種社会福祉事業である、グループホーム野寒里施設等に使用している			74,397,600
	(よこすか めく森こども園拠点) 掛川市横須賀1039-1他		第2種社会福祉事業である、よこすかめく森こども園施設等に使用している			344,154,422
	(おおすか苑拠点) 掛川市大淵4895他	1991年度	第1種社会福祉事業である、おおすか苑施設等に使用している	634,632,108	566,904,766	127,727,342
	(おおすか苑拠点) 掛川市大淵4895他	1998年度	第1種社会福祉事業である、おおすか苑施設等に使用している	245,195,485	166,141,718	79,053,767
	(おおすか苑拠点) 掛川市大淵4895他	2003年度	第1種社会福祉事業である、おおすか苑施設等に使用している(1:1型)	367,112,681	231,576,600	135,536,081
	(おおすか苑拠点) 掛川市大淵4895他	2003年度	(1:1型) 空調を入替使用している(R4)	39,380,000	8,135,251	31,244,749
	(おおすか苑拠点) 掛川市大淵4895他	2003年度	第1種社会福祉事業である、おおすか苑施設等に使用している	118,471,500	84,492,232	33,979,268
	(おおすか苑拠点) 掛川市大淵4895他	2007年度	(居宅事務所) 空調を入替使用している(R3)	2,640,000	781,220	1,858,780
	(おおぶち そよ風こども園拠点) 掛川市大淵4386-1他	2004年度	第1種社会福祉事業である、おおぶちそよ風こども園施設等に使用している	80,115,000	80,114,990	10
	(おおぶち そよ風こども園拠点) 掛川市大淵4386-1他	2004年度	第2種社会福祉事業である、おおぶちそよ風こども園施設等に使用している	468,288,660	294,644,212	173,644,448
	(地域密着型サービス拠点) 掛川市大淵4386-1他	2016年度	第2種社会福祉事業である、グループホーム野寒里施設等に使用している	24,226,000	8,360,243	15,865,757
	(よこすか めく森こども園拠点) 掛川市横須賀1039-1他	2020年度	第2種社会福祉事業である、よこすかめく森こども園施設等に使用している	340,133,767	144,704,751	195,429,016
	定期預金			803,094,083	165,725,229	637,368,854
基本財産合計				3,183,289,284	1,751,581,212	1,955,951,505
(2) その他の固定資産						
土地	(おおすか苑拠点) 掛川市大淵4348他		第1種社会福祉事業である、おおすか苑職員駐車場に使用している	38,950,000		38,950,000
	(山崎デイサービス拠点) 掛川市山崎60-85他		山崎デイサービスセンターの駐車場及び広場のために確保している	13,430,000		13,430,000
	(山崎デイサービス拠点) 掛川市山崎60-85他		第2種社会福祉事業である、山崎デイサービスセンター等に使用している	38,153,845		38,153,845
	(よこすか めく森こども園拠点) 掛川市横須賀1052		よこすかめく森こども園 地域交流などの為に使用予定	6,004,800		6,004,800
	(おおぶち そよ風こども園拠点) 掛川市大淵4386-1他		おおぶち そよ風こども園駐車場に使用している	11,236,000		11,236,000
	(おおすか苑拠点) 掛川市大淵4895		第1種社会福祉事業である、おおすか苑倉庫に使用している	302,500	263,146	39,354
	(山崎デイサービス拠点) 掛川市山崎60-85他	2010年度	令和3年度外壁改修工事	231,000	170,670	60,330
	(山崎デイサービス拠点) 掛川市山崎60-85他		第2種社会福祉事業である、山崎デイサービスセンター等に使用している	28,160,000	4,829,440	23,330,560
	(よこすか めく森こども園拠点) 掛川市横須賀1039-1他		第2種社会福祉事業である、よこすかめく森こども園の乳児プール倉庫に使用している	82,928,958	82,780,472	148,481
	(おおぶち そよ風こども園拠点) 掛川市大淵4386-1他		空調を入替使用している(R3.4)	2,766,000	757,267	1,998,733
	(おおすか苑拠点) 掛川市大淵4386-1他		第2種社会福祉事業である、おおすか苑倉庫に使用している	192,698	140,071	52,627
	(おおぶち そよ風こども園拠点) 掛川市大淵4386-1他		第2種社会福祉事業である、おおぶちそよ風こども園倉庫に使用している	485,100	485,099	1
	(おおすか苑拠点) 掛川市大淵4895		令和3年度外壁改修工事	230,725	140,220	90,505
	(おおすか苑拠点) 掛川市大淵4895		おおすか苑 2号倉庫1号木更替工事	6,442,051	4,210,830	2,231,221
建物	各拠点		各施設外構工事、保育園遊具等	426,255,825	266,495,712	159,760,113
	日産キャバコン等10台		利用者送迎等	27,283,229	23,971,963	3,311,266
	各拠点		介護ベッド等	224,157,823	195,638,702	28,519,121
	おおすか苑、地域密着型サービス拠点		介護保険ソフト、パソコン20台、LED	59,982,000	47,340,800	12,641,200
	おおすか苑拠点		電話加入権			72,000
	おおすか苑、地域密着型サービス拠点		会計管理ソフト等	11,636,555	8,798,096	2,838,459
	退職給付引当資産		退職金支払いのための積立金			17,308,450
	人件費積立資産		将来の人件費の為に積立している定期預金、国債			281,764,200
	施設整備等積立資産		将来の施設整備の為に積立している定期預金、国債			279,256,140
	保育所施設整備等積立資産		将来の施設整備の為に積立している定期預金			121,865,690
	長期前払費用		火災保険として(R5.9.1～3年契約)			1,166,240
	その他の固定資産		出資金			100,000
その他の固定資産合計				978,329,109	633,021,693	1,046,840,136
固定資産合計				4,161,618,393	2,384,602,905	3,002,791,641
資産合計				4,161,618,393	2,384,602,905	3,332,372,932
II 負債の部						
1 流動負債						
事業未払金	職員派遣他					27,251,862
1年以内返済予定設備資金借入金	静岡銀行大須賀支店他					20,333,000
1年以内返済予定リース債務	NECバビカリオン他					3,441,680
未払費用	3月分職員給料未払分					22,726,012
職員預り金	3月分源泉所得税他					5,968,296
賞与引当金	6月賞与R7年度対応分					34,754,831
流動負債合計				0	0	114,475,681
2 固定負債						
設備資金借入金	静岡銀行大須賀支店他					152,668,000
リース債務	NECバビカリオン他					9,199,520
退職給付引当金	静岡県退職共済会分引当					17,308,450
固定負債合計				0	0	179,175,970
負債合計				0	0	293,651,651
差引純資産				4,161,618,393	2,384,602,905	3,038,721,281

第一号第一様式 (第十七条第四項関係)

法人単位資金収支計算書

(自) 令和 7年 4月 1日 (至) 令和 8年 3月31日

(単位: 円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
事業活動による収支	収入			
	0165 介護保険事業収入	637,921,000	631,654,393	6,266,607
	0181 保育事業収入	315,202,000	320,409,025	-5,207,025
	0199 経常経費寄附金収入	11,000	0	11,000
	0200 受取利息配当金収入	932,000	1,431,078	-499,078
	0201 その他の収入	4,424,000	4,522,001	-98,001
	事業活動収入計(1)	958,490,000	958,016,497	473,503
	支出			
	0129 人件費支出	670,755,000	656,552,600	14,202,400
	0130 事業費支出	141,616,000	120,307,232	21,308,768
施設整備等による収支	0131 事務費支出	159,983,000	143,426,580	16,556,420
	0136 利用者負担軽減額	1,925,000	1,380,606	544,394
	0137 支払利息支出	2,017,000	1,862,973	154,027
	0138 その他の支出	3,555,000	3,336,720	218,280
	施設整備等支出計(2)	979,851,000	926,866,711	52,984,289
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	-21,361,000	31,149,786	-52,510,786
	収入			
その他の活動による収支	0204 施設整備等補助金収入	2,171,000	2,171,000	0
	施設整備等収入計(4)	2,171,000	2,171,000	0
	支出			
	0143 設備資金借入金元金償還支出	20,400,000	20,333,000	67,000
	0144 固定資産取得支出	27,913,000	25,070,924	2,842,076
	0146 ファイナンス・リース債務の返済支出	5,029,000	4,424,860	604,140
	施設整備等支出計(5)	53,342,000	49,828,784	3,513,216
その他の活動による収支	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-51,171,000	-47,657,784	-3,513,216
	収入			
	0214 積立資産取崩収入	1,495,000	1,169,000	326,000
	その他の活動による収入計(7)	1,495,000	1,169,000	326,000
	支出			
	0152 積立資産支出	2,012,000	1,683,600	328,400
	その他の活動支出計(8)	2,012,000	1,683,600	328,400
予備費支出(10)	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	-517,000	-514,600	-2,400
		0	—	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		-73,049,000	-17,022,598	-56,026,402
前期末支払資金残高(12)		225,739,805	290,657,719	-64,917,914
当期末支払資金残高(11)+(12)		152,690,805	273,635,121	-120,944,316

第二号第一様式（第二十三条第四項関係）

法人単位事業活動計算書

（自）令和 7年 4月 1日（至）令和 8年 3月31日

（単位：円）

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収 0056 介護保険事業収益	631,654,393	651,332,667	-19,678,274
	益 0072 保育事業収益	320,409,025	313,751,914	6,657,111
	0089 経常経費寄附金収益	100,000	152,500	-52,500
	サービス活動収益計(1)	952,163,418	965,237,081	-13,073,663
	費 0015 人件費	659,430,468	657,506,876	1,923,592
	0016 事業費	120,407,232	120,544,889	-137,657
	0017 事務費	146,319,612	147,554,020	-1,234,408
	0026 利用者負担軽減額	1,380,606	1,710,811	-330,205
	0027 減価償却費	132,840,994	141,170,671	-8,329,677
	0028 国庫補助金等特別積立金取崩額	-90,185,344	-93,771,341	3,585,997
サービス活動費用計(2)		970,193,568	974,715,926	-4,522,358
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)		-18,030,150	-9,478,845	-8,551,305
サービス活動外増減の部	収 0092 借入金利息補助金収益	0	620,000	-620,000
	益 0093 受取利息配当金収益	1,431,078	1,045,716	385,362
	0272 積立資産評価益	93,690	0	93,690
	0098 その他のサービス活動外収益	4,522,001	4,122,380	399,621
	サービス活動外収益計(4)	6,046,769	5,788,096	258,673
	費 0033 支払利息	1,862,973	1,951,490	-88,517
	0275 積立資産評価損	14,324,660	11,505,000	2,819,660
	0038 その他のサービス活動外費用	3,617,120	3,479,800	137,320
	サービス活動外費用計(5)	19,804,753	16,936,290	2,868,463
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	-13,757,984	-11,148,194	-2,609,790
経常増減差額(7)=(3)+(6)		-31,788,134	-20,627,039	-11,161,095
特別増減の部	収 0100 施設整備等補助金収益	2,171,000	31,000,000	-28,829,000
	益 0109 拠点区分間固定資産移管収益	180,757	0	180,757
	0111 その他の特別収益	1,501,340	989,404	511,936
	特別収益計(8)	3,853,097	31,989,404	-28,136,307
	費 0042 固定資産売却損・処分損	5	100,694	-100,689
	0044 国庫補助金等特別積立金積立額	2,171,000	28,890,252	-26,719,252
	0050 拠点区分間固定資産移管費用	180,757	0	180,757
	特別費用計(9)	2,351,762	28,990,946	-26,639,184
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	1,501,335	2,998,458	-1,497,123
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	-30,286,799	-17,628,581	-12,658,218
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	701,108,337	707,231,918	-6,123,581
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	670,821,538	689,603,337	-18,781,799
	基本金取崩額(14)	0	0	0
	その他の積立金取崩額(15)	14,324,660	11,505,000	2,819,660
	その他の積立金積立額(16)	93,690	0	93,690
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	685,052,508	701,108,337	-16,055,829

第三号第一様式 (第二十七条第四項関係)

法人単位貸借対照表

令和 8年 3月31日現在

(単位: 円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
	当年度末	前年度末	増 減
0001 流動資産	329,581,291	346,535,981	-16,954,690
1111 預金	206,714,603	202,613,008	4,101,595
1131 事業未収金	107,222,796	116,585,507	-9,362,711
1132 未収金	301,320	231,900	69,420
1133 未収補助金	14,911,232	26,583,411	-11,672,179
1161 立替金	83,860	177,495	-93,635
1162 前払金	302,400	344,660	-42,260
1163 前払費用	35,080	0	35,080
1181 仮払金	10,000	0	10,000
0002 固定資産	3,002,791,641	3,116,086,318	-113,294,677
0003 基本財産	1,955,951,505	2,093,013,423	-137,061,918
1211 土地	523,243,433	561,397,278	-38,153,845
1212 建物	1,431,708,072	1,530,616,145	-98,908,073
1221 定期預金	1,000,000	1,000,000	0
0004 その他の固定資産	1,046,840,136	1,023,072,895	23,767,241
1311 土地	107,774,645	63,616,000	44,158,645
1312 建物	30,462,612	30,421,290	41,322
1313 構築物	159,760,113	175,938,409	-16,178,296
1315 車輦運搬具	3,311,266	835,046	2,476,220
1316 器具及び備品	28,519,121	27,416,348	1,102,773
1319 有形リース資産	12,641,200	5,700,860	6,940,340
1321 権利	72,000	72,000	0
1322 ソフトウェア	2,838,459	816,476	2,021,983
1329 退職給付引当資産	17,308,450	17,074,250	234,200
1332 人件費積立資産	281,764,200	288,263,000	-6,498,800
1219 施設整備等積立資産	279,256,140	287,082,000	-7,825,860
1220 保育所施設・設備整備積立資産	121,865,690	121,772,000	93,690
1334 長期前払費用	1,166,240	3,965,216	-2,798,976
1341 その他の固定資産	100,000	100,000	0
資産の部合計		3,332,372,932	3,462,622,299
負債及び純資産の部合計		3,332,372,932	-130,249,367
		3,038,721,281	3,157,022,424
		3,332,372,932	3,462,622,299
		3,038,721,281	-118,301,143
		3,332,372,932	-130,249,367

令和7年度 事業報告（概要版）

特別養護老人ホームおおすか苑（従来型）

1. 入所者状況

令和7年度延べ利用者数 17,498 名、昨年の 17,587 名と比べると 89 名の減少で、稼働率は 95.9%、昨年の 96.4% から下がった。入所の調整や手続き、入院者の退院調整に時間を要し空床が長期となってしまった。平均利用者数は 47.9 名、平均介護度は 3.7 であった。新規入所者は 39 名、内訳は、在宅から 13 名（障がい者のグループホームからの方が 2 名）、医療機関から 15 名、介護老人保健施設（老健）から 5 名、有料老人ホームから 2 名、おおすか苑ユニット型から 3 名、グループホーム野楽里から 1 名であった。退所者は 37 名で、そのうち老衰による死亡 27 名、持病による死亡 1 名、医療機関への入院 6 名、介護度が軽度になったことでの退所者 3 名（グループホーム野楽里へ 1 名、老人保健施設へ 1 名、軽費老人ホームへ 1 名）であった。

2. 従来型施設の目標「稼働率 98%を目指す。」「誤嚥性肺炎やケガを発生させない」

- ・稼働率 95.9% で目標達成とならなかった。
- ・誤嚥性肺炎発症については新型コロナウイルス感染症罹患後発症のケースであった。
- ・市への報告対象となる重傷事故は 8 件発生、原因不明事案が 3 件、その内 2 件は同一の利用者で、骨粗鬆症の悪化により骨が極めて脆くなっている事が原因と判明した。

○あゆみユニット 目標「皮膚トラブルを発生させない」

昨年度に多かった皮下出血は減少させたが、座位姿勢の崩れによる擦れから 1 名褥瘡を発生させてしまった。介護技術の指導が不十分だったことも要因と考えられる。

○なごみユニット 目標①「ベッド周りの環境整備に気を配る」

居室に環境整備のチェック表をおいて確認し、洗面台周りの不衛生さや危険物等の放置等は無くなり、整えられた。口腔ケアに関しても意識できてきた。危険予知について以前に比べ意識できるようになり、ヒヤリハット報告書の提出が増えた。

○なごみユニット 目標②「入居者・家族・職員間のコミュニケーションを重視する」

面会時に積極的に家族とコミュニケーションをとる取り組みは行えたが、連絡体制の不備から苦情を受けたケースがあった。職員間で連絡を人任せにしていたことが原因であった。その後は連絡確認票を作成し、確実に連絡を取ることができている。

3. 活動・行事

年間行事、季節の行事食、おやつはほぼ予定通り実施できた。お茶会、夏祭り、運動会はボランティアの方の協力も得て実施できた。

4. 利用者の健康管理

精神科医の往診が月 2 回導入された。コロナ感染症が 1 階で 2 回、2 階で 1 回発生し、1 階利用者 7 名、2 階利用者 18 名が隔離療養対応となった。

5. 防災活動

7 月、8 月はコロナ感染症発生により訓練中止したが、それ以外は毎月実施できた。夜間想定を中心に、避難経路確認等も行えた。

6. 職員研修

内部研修 18 件、外部研修 38 件に参加した。

7. 会議・委員会

施設、給食会議は開催できた。委員会の体制等については今後検討が必要である。

8. 優先入所検討委員会

2 か月に 1 回定期開催できた。今年度は入退所が多く臨時の委員会開催も多かった。

9. 地域との交流

こでまりの会（毎週水曜日シート交換）、歌謡ボランティア月 2 回、日本赤十字奉仕団、更生保護女性部（行事への協力）、浜地地区シニアクラブ（草刈り）、大湊地区民生委員・福祉委員（窓ふき・車清掃等）の方々にご協力いただいた。

令和7年度 事業報告（概要版）

特別養護老人ホームおおすか苑（ユニット型）

1. 入居者状況

令和7年度延べ利用者数 10,576 名、昨年の 10,506 名と比べると 70 名の増加で、稼働率は 96.6%、昨年の 95.9%からは多少改善されたが、まだ低い状況である。平均利用者数は 29.0 名、平均介護度は 3.6 であった。新規入居者は 15 名、内訳は、在宅から 3 名、介護老人保健施設（老健）から 1 名、医療機関から 1 名、グループホーム野楽里から 3 名、他グループホームから 3 名、有料老人ホームから 1 名、軽費老人ホームから 1 名、おおすか苑従来型から 1 名、他特養から 1 名であった。退居者は 16 名、内、死亡によるものが 9 名（老衰 7 名、新型コロナウイルス感染症 1 名、持病 1 名、）病状変化による医療機関への入院が 4 名、おおすか苑従来型への異動 3 名であった。

2. ユニット型施設の目標 「環境要因による事故を起こさない」

日常的な環境点検や、動線の確保など、事故予防に向けた取り組みを行い環境要因による事故の発生はなかった。一方で、施設内の設備においては経年劣化による故障箇所が多く、大きな修繕としてナースコール設備の故障により、関連機器も含めて一式買い替えとなった。

○日の出の郷「清潔な居室作りをする」「入居者一人一人の一日を知り、余暇の充実をはかる」

居室内の清掃や整理整頓に継続して取り組み、清潔な空間づくりを意識した。入居者の生活リズムや好みに配慮した支援に心がけ、脳トレや植物の育成、テレビ体操、外気浴など、個々の興味に応じた取り組みができた。

○ほのぼの 「入居者が過ごしやすい環境を整える」

居室やユニット内の清掃・整理整頓をチェック表で確認した。入居者同士の関係性やその日の体調・気分配慮し座席等の場所の選定を行う事ができた。

○光の丘 「職員によりケアに差が出ないようにする」

情報共有、技術の統一への取り組みを進めてきたが、家族から、情報伝達について職員によって差があると指摘があった、改善が必要である。24 時間シートはケアプラン更新時に見直しをしているが、生活への活用するまでに至っていない。

3. 活動・行事

年間行事、季節の行事食、おやつはほぼ予定通り実施できた。お茶会、夏祭り、運動会はボランティアの方の協力も得て実施できた。

4. 利用者の健康管理

精神科医の往診が月 2 回導入された。7 月にほのぼのユニットにて新型コロナウイルス感染症が発生し入居者 6 名が感染、そのうち 1 名が感染症罹患後に死去された。

5. 防災活動

7 月、8 月はコロナ感染症発生により訓練中止したが、それ以外は毎月実施できた。夜間想定を中心に、避難経路確認等も行えた。

6. 職員研修

内部研修 17 件、外部研修 47 件に参加した。

7. 会議・委員会

施設、給食会議は開催できた。委員会の体制等については今後検討が必要である。

8. 優先入所検討委員会

2 か月に 1 回定期開催できた。必要に応じ臨時の委員会も開催した。

9. 地域との交流

歌謡ボランティア月 2 回、日本赤十字奉仕団、更生保護女性部（行事への協力）、浜地地区シニアクラブ（草刈り）、大洲地区民生委員・福祉委員（窓ふき・車清掃等）の方々にご協力いただいた。

おおすか苑ショートステイ

1. ショートステイ利用状況

令和7年度延べ利用者数2,838名、昨年度の2,128人と比べると710名の増加となった。1日の平均利用者数は7.8人、平均介護度は2.4であった。利用構成比は要介護3の方が最も多く、全体の29.9%を占めた。

上半期においては昨年度の利用者数の落ち込みが大きく影響していたが、担当者をはじめとした利用者獲得への取り組みの効果が出てきて、下半期には回復をみせた。しかし年度全体としては目標達成には至らなかった。

新規利用者の獲得に関しては、複数の居宅介護支援事業所等からの紹介や、在宅生活が困難となってきた方、緊急の利用希望者など、幅広く対応している。また、特養おおすか苑や他施設の入所待機者なども含め、長期利用者も受入れている。

2. ショートステイ目標

「利用人数を平均10人とし、一人一人と関わりの持てるようにする」

- ・居宅介護支援事業所をはじめとする関係各所へ連絡、情報提供等の告知活動を行った。新規利用者は毎月安定的に受け入れ、自宅生活が困難なケースの長期利用や緊急対応の必要な方の受け入れも積極的に行った。
- ・平均利用者数は目標の10人には達しなかった。目標達成できなかった要因としては、上半期の利用人数が少なかった影響と、下半期に当施設内で新型コロナウイルス感染症が発生したことにより、一時期利用を中止された方が出たことが大きい。
- ・長期の利用から当施設（特養）への入所に繋がるケースは増えた。
- ・利用後の感想を聞き取る等の対応は実施しているが、それを事業運営に十分に活かせていない。
- ・余暇活動は、特養入所者といっしょに参加してもらえたものもあったが、計画的には行えなかった。満足度を高める為にも、ボランティアや慰問なども活かして余暇時間の充実を図りたい。
- ・施設内で感染症が発生した時でも、ショートステイ利用者の受け入れができるよう環境の見直し等を検討していく必要がある。

3. 活動・行事

特養おおすか苑従来型の行事へ参加している。

4. 利用者の健康管理

- ・身体状況を確認し、滞在中の変化に注意を払った。体調不良の兆候が見られたケースや緊急利用により状態変化が顕著にみられたケースもあったが、速やかに看護職員と連携して、ご家族や担当ケアマネジャーへ連絡をとり症状の悪化防止に努めた。
- ・長期利用の方の体調に関して家族との連携、薬管理に配慮した。
- ・頓服薬の服薬調整は事業所で対応していたが、判断が難しいケースが増えてきた為、今年度は対応方法を変えた。基本的にご家族の判断に基づいて対応する方針とし、今後もこの対応で行っていく。
- ・特養入所者と同様に食事量や水分量の確認を行った。
- ・利用中に新型コロナウイルス感染症に感染した方がいた。症状が回復するまで利用継続で対応した。

5. 防災活動

6. 職員研修

5～8は併設の特養おおすか苑従来型と一体的に行った。

7. 会議・委員会

8. 地域との交流

令和 7 年度 事業報告(概要版)
デイサービスほほえみ事業報告

1 重点目標の評価

(1)「1日平均利用者数：平日 28 名以上、土曜日 15 名以上」

今年度の 1 日平均利用者数は、平日 24.4 名、土曜 14.0 名となり、平日、土曜日ともに目標が達成できなかった。体調不良、入院、ショートステイ利用等により利用が安定しなかったことが主因である。一方で、お試し利用 19 件中 17 件、見学 2 件中 1 件が新規利用へつながっており、一定の成果は認められた。次年度は行事に合わせた見学会の開催、地域への情報発信強化、利用者・家族の意見を取り入れたサービス提供により、利用者数の安定的確保を図る。

(2)「ケアの質の向上と業務の効率化を実現し、安定した事業運営を図る」

ケアの質向上および業務効率化については、定員変更に伴い送迎・入浴・日課の全面的見直しを行い、業務体制の定着を図った。内部研修は計画どおり実施し、外部研修内容も職員間で共有した。次年度は担当者制の導入、ICT 化の推進、外部研修への積極的参加により、さらなる質向上を目指したい。

2 具体的な取り組みと評価

業務体制については、統合後の定員増に対応するため、送迎・入浴・日課の再構築を行い、運営の安定化を図った。次年度は担当者制を導入し、責任の明確化と業務効率化を進める。

研修体制については、ケース検討会および内部研修を毎月実施し、研修内容をお便りにて発信することで、事業所の取り組みの可視化を図った。次年度は内部研修においても担当者制を導入し、研修の質向上を図る。

ICT 化については、他事業所の見学を通じて導入の方向性を検討した。次年度は介護ソフトの機能やケアプランデータ連携システムの活用を進めていくことで、業務効率化を推進する。利用者・家族アンケートでは、送迎および日課に対し「落ち着いている」との評価が多く、一定の満足度が確認された。

リハビリ・自立支援については、看護師が中心となり訓練内容を調整し、余暇時間の機器活用により筋力維持を支援した。次年度は個別機能訓練加算の再算定を目指す。

地域連携については、地域包括支援センターおよび居宅介護支援事業所への毎月の訪問を継続した。加算算定については、算定中の加算の確認と今後算定可能な加算に関する情報収集を継続した。

3 サービス提供状況

- ・食事、入浴、送迎：計画どおり実施した。
- ・健康管理、介護相談：計画どおり実施した。
- ・レクリエーション：新しい活動の導入、季節行事の実施、利用者の自主的活動が定着した。
- ・機能訓練：看護師中心に実施し、多職種で随時見直しした。
- ・ケア見直し：毎月モニタリングを実施し、状態に応じて計画変更した。
- ・防災：併設特養と合同で避難訓練等を実施した。

4 研修、会議等の実施状況

- ・内部研修：11 回（延べ 61 名）虐待防止、介護技術、感染症、事故対策、入浴、認知症等
- ・外部研修：6 回（延べ 6 名）感染対策、メンタルヘルス、LIFE（国の介護情報システム）説明会等
- ・法人、行政関連会議：センター会議 3 回、ケース検討会 12 回、介護保険事業所連絡会（年 4 回）
- ・その他：地域貢献活動の参加（フードパントリー）、実習生やボランティアの受け入れ

令和7年度 事業報告（概要版）
おおすか苑居宅介護支援事業所

1 重点目標の評価

（1）困難ケース、家族支援を含めた複雑なケース対応するための知識や能力を身に着ける

高齢者虐待防止、権利擁護、障がい者支援等の研修に参加し、基礎知識を習得した。年間約3件の困難ケースに対応し、学んだ内容を実践に活かした。しかし、実践機会が限られ、職員個々の能力向上につながるには不十分であった。今後も継続的な研鑽が必要である。

事業所内で月1回の事例検討会を実施し、支援力向上に努めた。

（2）地域に根差した社会福祉事業者として認知されるため、地域住民や地域組織とのつながりを深める

福祉懇談会・見守りネットワーク会議等に参加し、地域住民との接点を確保した。サロンの送迎支援やフードパントリーなど地域貢献活動にも参加した。しかし、事業所の認知度向上には十分ではなかった。地域への情報発信の不足が課題として残った。

（3）事業継続のための積極的にケースの受け入れを行う。要介護、要支援を合わせて月平均174件以上の支援を行う。またICT活用による業務の効率化を図る

要介護・要支援の月平均件数は146件で、目標174件に届かなかった。年度前半に受入を制限した影響や、入所・入院による終了件数増が要因である。業務効率化に向け業務の洗い出しを行い、記録文例の活用方法を決定したが、文例作成には至らなかった。ケアプランデータ連携システムの導入準備は完了し、次年度の運用開始に向けた体制を整えた。

2 具体的取り組みと評価

外部研修（障がい者サービス、介護予防ケアマネジメント等）への参加、月1回の内部研修・事例検討会を継続実施した。地域包括支援センターとは、情報共有や同行訪問を行い、困難ケースへの協働支援体制を強化した。福祉懇談会等へ年4回参加し、地域との関係づくりを進めた。ICT活用としてタブレット活用の検討、ケアプランデータ連携システム導入準備を実施した。

3 利用状況等

- ・居宅介護支援：ケアプラン作成件数 1,497 件（前年比 -288 件）
- ・予防介護支援：255 件（前年比 +9 件）
- ・異動状況：新規 36 件（うち 61%が包括からの紹介）、終了 51 件（75%が入所・入院）
- ・介護認定調査：職員の人員不足により受入を中止。職員 4 名中 3 名が調査員資格を保有。

4 研修・会議

- ・内部研修：12 回（延べ 46 名）虐待防止、感染症対策、BCP、事故対策など
- ・外部研修：17 回（延べ 41 名）介護予防、災害対応、困難事例、多職種連携、ICT 等
- ・地域活動：見守りネットワーク会議、福祉懇談会、フードパントリー事業など、地域貢献活動へ継続的に参加
- ・法人、行政関連会議：居宅介護支援会議（毎週）、リスク対応委員会（月 1 回）
介護保険事業所連絡会（年 4 回）

掛川市南部大須賀地域包括支援センター

1	担当圏域	(大須賀地区) 人 口 10,006 人 (前回比 -149 人) 高齢者人口 3,565 人 (前回比 -15 人) 高齢化率 35.63% (前回比 +0.38%) ※R7.3月現在(前回 R6.3月)
2	職員体制	主任介護支援専門員に準ずる者1名・看護師2名・社会福祉士1名
3	取り組んだ事業内容	【1】 総合相談支援業務 ① 実態把握（新規登録・把握・追加） 137 件 ② 総合相談受付、対応数 ⇒2,322 件（昨年比 +896 件） （来所 554 件、電話 1,330 件、訪問 438 件） 【2】 権利擁護業務 セルフネグレクトとして地域とも情報共有し対応していた方が自宅で亡くなった。その他に経済的困窮や、高齢ひとり暮らしで身寄りのない方、収入はあるが、金銭管理ができず生活困窮に陥るケースなど、権利擁護に関わる事例が増えている。 【3】 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務 居宅介護支援事業所の CM 向けの研修を開催したり、CM からの個別の相談に対応するなど圏域の CM の支援に取り組んだ。また、病院・施設・在宅を通じた包括的・継続的なケアを実施するため、関係機関と連携し、チームアプローチの視点を持てる体制の構築を行った。 【4】 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援業務 ・介護予防ケアマネジメント 請求件数 254 件（直営 154 件、委託 100 件） ・介護予防支援 請求件数 307 件（直営 18 件、委託 289 件） 【5】 地域におけるネットワーク活動の展開 大須賀4地区の福祉委員会の会合や地区福祉懇談会、地区の見守りネットワーク会議に出席し、地域との連携、協力体制の構築に努めた。 【6】 認知症に関する取り組み 掛川市社会福祉協議会と協力し、認知症カフェに携わることで家族や本人の支援に努めた。また、今年度は地域から認知症予防の講座依頼が多く、行政の保健師と協働で開催した。 【7】 生活支援体制整備事業に関する取り組み 「おおすか健康広場いづもんとこ」は、大須賀ふくしあ所属団体と共同で運営した。サポーター（ボランティア）等の社会資源の開発、育成にも努めた。 【8】 在宅医療・介護連携推進事業に関する業務 掛川小笠保健医療福祉研究会に参加し、在宅医療介護の現状と課題について関係者と情報共有した。必要に応じ、受診や薬局への同行対応を行った。

第二号第四様式（第二十三条第四項関係）

おおすか苑拠点区分事業活動計算書

（自）令和 7年 4月 1日（至）令和 8年 3月31日

（単位：円）

勘 定 科 目			当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収 益	0056 介護保険事業収益	513,760,672	495,954,964	17,805,708
		0089 経常経費寄附金収益	100,000	52,600	47,500
		サービス活動収益計(1)	513,860,672	496,007,464	17,853,208
	費 用	0015 人件費	342,235,191	329,662,876	12,572,315
		0016 事業費	70,335,745	67,994,491	2,341,254
		0017 事務費	76,576,407	79,263,781	-2,687,374
		0026 利用者負担軽減額	1,380,606	1,710,811	-330,205
		0027 減価償却費	40,247,743	44,125,829	-3,878,086
		0028 国庫補助金等特別積立金取崩額	-24,017,970	-25,052,889	1,034,919
		サービス活動費用計(2)	506,757,722	497,704,899	9,052,823
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)			7,102,950	-1,697,435	8,800,385
サービス活動外増減の部	収 益	0093 受取利息配当金収益	1,136,915	871,412	265,503
		0098 その他のサービス活動外収益	868,609	867,255	1,354
		サービス活動外収益計(4)	2,005,524	1,738,667	266,857
	費 用	0033 支払利息	245,744	198,764	46,980
		0275 積立資産評価損	14,324,660	11,277,000	3,047,660
		0038 その他のサービス活動外費用	142,400	304,000	-161,600
		サービス活動外費用計(5)	14,712,804	11,779,764	2,933,040
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)			-12,707,280	-10,041,097	-2,666,183
経常増減差額(7)=(3)+(6)			-5,604,330	-11,738,532	6,134,202
特別増減の部	収 益	0100 施設整備等補助金収益	2,171,000	0	2,171,000
		0106 拠点区分間繰入金収益	1,170,000	0	1,170,000
		0109 拠点区分間固定資産移管収益	180,757	0	180,757
		0111 その他の特別収益	142,400	331,600	-189,200
		特別収益計(8)	3,664,157	331,600	3,332,557
	費 用	0042 固定資産売却損・処分損	5	100,689	-100,684
		0044 国庫補助金等特別積立金積立額	2,171,000	0	2,171,000
特別費用計(9)			2,171,005	100,689	2,070,316
特別増減差額(10)=(8)-(9)			1,493,152	230,911	1,262,241
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)			-4,111,178	-11,507,621	7,396,443
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)		396,734,515	396,965,136	-230,621
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)		392,623,337	385,457,515	7,165,822
	基本金取崩額(14)		0	0	0
	その他の積立金取崩額(15)		14,324,660	11,277,000	3,047,660
	その他の積立金積立額(16)		0	0	0
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)		406,947,997	396,734,515	10,213,482

第二号第四様式(第二十三条第四項関係)

山崎デイサービスセンター拠点区分事業活動計算書

(自) 令和 7年 4月 1日 (至) 令和 8年 3月31日

(単位: 円)

勘定科目			当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益	0056 介護保険事業収益	0	32,458,399	-32,458,399
		サービス活動収益計(1)	0	32,458,399	-32,458,399
	費用	0015 人件費	-706,715	21,285,970	-21,992,685
		0016 事業費	0	5,523,525	-5,523,525
		0017 事務費	2,344,846	4,584,629	-2,239,783
		0027 減価償却費	5,316,926	6,284,936	-968,010
		0028 国庫補助金等特別積立金取崩額	-58,300	-116,600	58,300
		サービス活動費用計(2)	6,896,757	37,562,460	-30,665,703
		サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	-6,896,757	-5,104,061	-1,792,696
サービス活動外増減の部	収益	0098 その他のサービス活動外収益	1,818	46,280	-44,462
		サービス活動外収益計(4)	1,818	46,280	-44,462
	費用				
		サービス活動外費用計(5)	0	0	0
		サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	1,818	46,280	-44,462
経常増減差額(7)=(3)+(6)			-6,894,939	-5,057,781	-1,837,158
特別増減の部	収益	0111 その他の特別収益	946,200	36,604	909,596
		特別収益計(8)	946,200	36,604	909,596
	費用	0042 固定資産売却損・処分損	0	1	-1
		0050 拠点区分間固定資産移管費用	180,757	0	180,757
		特別費用計(9)	180,757	1	180,756
		特別増減差額(10)=(8)-(9)	765,443	36,603	728,840
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)			-6,129,496	-5,021,178	-1,108,318
繰越活動増減差額の部		前期繰越活動増減差額(12)	67,266,939	72,288,117	-5,021,178
		当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	61,137,443	67,266,939	-6,129,496
		基本金取崩額(14)	0	0	0
		その他の積立金取崩額(15)	0	0	0
		その他の積立金積立額(16)	0	0	0
		次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	61,137,443	67,266,939	-6,129,496

小規模多機能型居宅よりみち

1. 利用状況 定員：登録定員 25 名（通い；15 名／日 泊り；6 名／日）

- ・令和7年度の月平均登録者数は、14.7 名で昨年度と比較して 0.7 名減。定員に対する登録率は 58% で、昨年度と比較して 3% 減少。新規サービス利用開始者 7 名 サービス終了利用者数が 7 名だった。

2. 目標に対する取り組み

事業目標①「月平均登録人数 15 名（登録率 60%）を目指す」

- ・平均登録者数 14.7 名。目標達成できなかった。上半期の登録者が少なかった。下半期は、ほぼ 16 名の登録者を維持できた。

処遇目標②「各職種連携し、利用者一人一人が必要とするサービス内容を見極め支援していく」

- ・できる限りミーティングを実施して情報共有に務めたが、共有・検討・実行はするが評価が弱く、あいまいになってしまう事が多かった。

3. サービス評価に基づく項目別計画への取り組み

- ・統一した「送迎」「訪問」の支援ができるように、職員 2 人対応で訪問を実施して共有を図った。
- ・本人の体調に合わせたケアや、できる限り自己決定を優先したケアを実施した。
- ・地域での暮らしの支援として、介護タクシーの活用をした。
- ・運営に関して PR 活動では、今年度は地域の薬局にパンフレットを置いてもらった。枚数が減っており、関心を示す方はいると思われるので継続していきたい。

4. サービス内容

- ・それぞれの利用者に担当職員を決め、月 1 回の個別計画のモニタリングを行った。
- ・利用者の状態を見ながら、脳トレなどの活動を継続した。脳トレ内容は自分で選択できるように、手の届く所に置いた。
- ・「通い」サービスにおいて、利用者間相互に交流できる状況を作った。また、利用者間で不快な状況になる時は、軽減できるように支援した。
- ・毎月のイベントと季節のイベントを計画通りに進めることができた。
- ・利用者の状態や要望によって「通い」「訪問」「宿泊」サービスを柔軟に調整した。
- ・地域からの介護相談は 1 件あったが、当事業所利用に繋がる内容ではなかった。

5. 地域との連携

- ・運営推進会議を計画通り開催した。
- ・歌や踊り、フルート演奏の慰問、高校生ボランティア（余暇活動支援）と交流ができた。

6. 会議・研修

- ・会議；計画通り開催した。
- ・内部研修；毎月、各担当職員が研修企画をして開催した。時間調整が困難な時は個別研修をしてレポート提出で実施した。
- ・外部研修；認知症実践者研修、介護支援専門員更新研修 高齢者虐待防止研修に参加しスキルアップを図った。
- ・認知症ケア委員会を立ち上げ、学習会を中心に取り組んだ。

7. 防災活動

- ・計画通り年 5 回の訓練を実施した。夜間想定を中心に取り組んだ。

グループホーム野楽里

1. 利用状況 定員：18 名（9 名×2 ユニット）

- ・1 日平均利用者数は、17.4 名で昨年度と比較してほぼ 0.1 名減少。定員に対する稼働率は、96.6%、昨年度と比較して 0.6%減少。新規入居者 7 名、退居者 8 名。入院者は 4 名であった。

2. 目標に対する取り組み

事業目標「事業としてやるべき事を全職員が理解し、共通理解のもと事業展開していく。
定員に対する稼働率 98%を目指す」

- ・稼働率達成できなかった。4 月から 8 月は満床となっていたが、下半期に変動が大きかった。

9 月に骨折で 1 名入院した方は、リハビリ病院に転院にて退居。入院先にて永眠 3 名、施設内での永眠 1 名、特養への移動で 3 名退居。入居希望者が少なく空室が続いたことが要因。
処遇目標「多職種連携し、入居者一人一人の想いを拾い上げ、実施、評価していく」

- ・ケアの見直しは、野楽里会議で検討し統一したケアが実施できてきた。業務の効率化についてについては、職員一人ひとり意識して計画を立てられるようになった。
- ・内部研修は、担当者を決めて職員で企画し実施し、ほぼ計画通りできた。

3. ケアの具体的取り組み内容

①生活支援について

- ・個々にできる家事活動は異なるが、それぞれのできる事を見つけて声掛けし参加できた。
- ・身体機能低下により介助量が増えているがパット種類の検討等を行い清潔保持に務めた。
- ・事故報告があった時は、東西ユニットの職員間で情報共有した。骨折の重傷事故が 1 件発生した。（入院、手術、退居となった）。

②アクティビティ活動について

- ・東西ユニット合同でのレクリエーションは行えていないが、室内での活動で脳トレや体操で体を動かす機会を作っている。職員一人一人が工夫して行っている。

③より良いサービス提供について

- ・定期的なケアプランの見直しができた。
- ・会議で業務の見直しやケアの確認、検討を行っているが、評価や振り返りが弱いことが課題。
- ・申し送りを聞くだけでなく、記録を確認するなどして、情報を取り込めるようにしたい。
- ・「野楽里通信」を発行したり、状態に応じて家族への連絡を適宜入れ情報共有に務めた。

4. 地域との連携

- ・運営推進会議を予定通り開催した。
- ・歌や踊り、フルート演奏の慰問、高校生ボランティア（余暇活動支援）と交流ができた。

5. 会議・研修

- ・会議；毎月実施できた。
- ・内部研修；15 回開催、認知症ケア委員会を立ち上げ学習会を中心に取り組んだ。
- ・外部研修；「民間社会福祉施設職員等オンライン海外研修、調査」「認知症実践者研修」「介護支援専門員更新研修」等に参加した。

6. 自己評価・外部評価

- ・9 月 20 日 外部評価実施（調査員 2 名）、12 月 12 日 掛川市へ提出した。

7. 防災活動

- ・計画通り年 5 回の訓練を実施した。夜間想定を中心に取り組んだ。

第二号第四様式（第二十三条第四項関係）

地域密着サービス拠点区分事業活動計算書

（自）令和 7年 4月 1日（至）令和 8年 3月31日

（単位：円）

勘 定 科 目			当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益	0056 介護保険事業収益	117,893,721	122,919,304	-5,025,583
		サービス活動収益計(1)	117,893,721	122,919,304	-5,025,583
	費用	0015 人件費	97,024,382	92,648,748	4,375,634
		0016 事業費	16,554,900	16,341,770	213,130
		0017 事務費	9,864,128	8,508,612	1,355,516
		0027 減価償却費	21,733,732	22,710,280	-976,548
		0028 国庫補助金等特別積立金取崩額	-3,411,140	-4,141,756	730,616
		サービス活動費用計(2)	141,766,002	136,067,654	5,698,348
		サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	-23,872,281	-13,148,350	-10,723,931
	収益	0098 その他のサービス活動外収益	155,815	177,165	-21,350
サービス活動外増減の部		サービス活動外収益計(4)	155,815	177,165	-21,350
	費用	0033 支払利息	1,617,229	1,132,726	484,503
		0038 その他のサービス活動外費用	28,700	69,000	-40,300
		サービス活動外費用計(5)	1,645,929	1,201,726	444,203
		サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	-1,490,114	-1,024,561	-465,553
		経常増減差額(7)=(3)+(6)	-25,362,395	-14,172,911	-11,189,484
特別増減の部	収益	0106 拠点区分間繰入金収益	0	20,000,000	-20,000,000
		0111 その他の特別収益	302,340	69,000	233,340
		特別収益計(8)	302,340	20,069,000	-19,766,660
	費用	特別費用計(9)	0	0	0
		特別増減差額(10)=(8)-(9)	302,340	20,069,000	-19,766,660
		当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	-25,060,055	5,896,089	-30,956,144
繰越活動増減差額の部		前期繰越活動増減差額(12)	130,882,619	124,986,530	5,896,089
		当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	105,822,564	130,882,619	-25,060,055
		基本金取崩額(14)	0	0	0
		その他の積立金取崩額(15)	0	0	0
		その他の積立金積立額(16)	0	0	0
		次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	105,822,564	130,882,619	-25,060,055

よこすか ぬく森こども園

1、保育構想

教育・保育方針

◎温かな雰囲気の中で、子どもが安心して過ごすことができるようにする。

◎豊かな環境の中で、様々な体験を通して、学びを支える。

重点目標 『～好きな人と いっぱいお話ししよう！～』

3つの柱 「挨拶」「会話」「絵本」

2、業務内容

1) 今年度の目標

- ・令和6年度は開園4年目にしてやっと様々なことを整え始めることが出来た一年であった。令和7年度は前年度からの取り組みを引き続き行いながら、保護者支援や安全管理についても力を入れた。

2) 取り組み・評価・課題

- ・重点目標は昨年度からの活動に加え、主幹・主任を中心に新たな活動にも取り組めたが、様々な状況をふまえ、目標や大事にしていくこと等の検討をしていきたい。
- ・保護者支援については、様々なケースについて積極的に保護者との面談を行い、保護者と思いの共有ができた、必要な支援を進めることが出来たが、伝え方や内容などを考えていく必要がある。
- ・安全管理については、全職員が関わってのマニュアルの見直しや防災訓練のPDCAに取り組み、より職員の安全管理の意識が高まってきているが、今後どのようにして保護者の防災意識を高めていくかを検討していきたい。
- ・今年度実施できなかった取り組みについては発信に関するものが多かった。現状をふまえながら、次年度大事にしていくことを検討していく。

3) クラス編成

(令和8年3月31日現在)

歳児	クラス名	男児	女児	計	保育教諭数
0歳児	ひよこ	2	4	6	保育士2名
1歳児	うさぎ	8	7	15	保育士3名
2歳児	りす	12	8	20	保育士4名
3歳児	ぱんだ	13	8	21	保育士1名
	こあら	14	8	22	保育士1名
4歳児	きりん	11	7	18	保育士1名
	くま	9	8	17	保育士1名
5歳児	らいおん	10	12	22	保育士1名
	ぞう	11	13	24	保育士1名
合 計		90	75	165	

4) 交流

- ・中学校・小学校、また畑の先生との交流ができた。

5) 火災・地震・津波・水害・不審者対応訓練

- ・園児の安全管理と職員の危機管理の意識の向上を図りながら、災害の発生に備え、子どもたちが自分で自分の命を守る力を養うように訓練を実施し、実施後PDCAに努めた。

6) 内部研修

- ・園内研修、ケース会議、ヒヤリハット会議等、全体研修やグループ討議を行いながら質の向上に努めた。

第二号第四様式 (第二十三条第四項関係)

よこすか ぬく森こども園拠点区分事業活動計算書

(自) 令和 7年 4月 1日 (至) 令和 8年 3月31日

(単位: 円)

勘 定 科 目			当年度決算 (A)	前年度決算 (B)	増減 (A)-(B)
サービス活動増減の部	収益	0072 保育事業収益	193,602,550	184,020,968	9,581,582
		0089 経常経費寄附金収益	0	100,000	-100,000
		サービス活動収益計(1)	193,602,550	184,120,968	9,481,582
	費用	0015 人件費	134,795,531	127,430,477	7,365,054
		0016 事業費	21,048,593	19,273,562	1,775,031
		0017 事務費	31,624,446	29,594,819	2,029,627
		0027 減価償却費	49,609,824	50,818,850	-1,209,026
		0028 国庫補助金等特別積立金取崩額	-48,700,050	-49,197,342	497,292
		サービス活動費用計(2)	188,378,344	177,920,366	10,457,978
		サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	5,224,206	6,200,602	-976,396
サービス活動外増減の部	収益	0093 受取利息配当金収益	120,480	32,293	88,187
		0272 積立資産評価益	93,690	0	93,690
		0098 その他のサービス活動外収益	2,087,209	1,757,075	330,134
		サービス活動外収益計(4)	2,301,379	1,789,368	512,011
	費用	0275 積立資産評価損	0	228,000	-228,000
		0038 その他のサービス活動外費用	2,040,120	1,931,100	109,020
		サービス活動外費用計(5)	2,040,120	2,159,100	-118,980
		サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	261,259	-369,732	630,991
		経常増減差額(7)=(3)+(6)	5,485,465	5,830,870	-345,405
特別増減の部	収益	0111 その他の特別収益	41,400	552,200	-510,800
		特別収益計(8)	41,400	552,200	-510,800
	費用	0042 固定資産売却損・処分損	0	3	-3
		0047 拠点区分間繰入金費用	1,170,000	20,000,000	-18,830,000
		特別費用計(9)	1,170,000	20,000,003	-18,830,003
		特別増減差額(10)=(8)-(9)	-1,128,600	-19,447,803	18,319,203
		当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	4,356,865	-13,616,933	17,973,798
繰越活動増減差額の部		前期繰越活動増減差額(12)	70,368,671	83,757,604	-13,388,933
		当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	74,725,536	70,140,671	4,584,865
		基本金取崩額(14)	0	0	0
		その他の積立金取崩額(15)	0	228,000	-228,000
		その他の積立金積立額(16)	93,690	0	93,690
		次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	74,631,846	70,368,671	4,263,175

おおぶち そよ風こども園

1、園の運営について

教育・保育目標 「げんきなからだ かんがえるちから やさしいところ」

教育・保育方針 ◎温かな雰囲気の中で、子どもが安心して過ごすことができるようにする。

◎豊かな環境の中で、様々な体験を通して学びを支える。

重点目標 「よくたべ よくねて よくあそぶ」

～教育・保育の中で子ども一人ひとりが安心・安全に過ごす～

2、業務内容報告

1) 今年度の目標

- ・こども園として、こども達の実態をふまえ、様々な環境の中で学び育ち合えるように丁寧な援助の工夫に努め、重点目標を達成する為に「職員の資質向上」「子育て・保護者支援」「危機管理面の強化」に取り組んだ。

2) 取り組み評価・課題

- ・「職員の資質向上」：外部研修への参加を増やしたことで、職員の質の向上に繋がった。
園内研修の内容の充実を図ったことで、専門性の向上に繋がったが、時間の確保を計画的に行う必要があった。
- ・「子育て・保護者支援」：ICTによる園情報配信を計画的に行ったことで、スムーズな園運営に繋がったが、対面での保護者対応不足があった為、改善し丁寧な保護者対応をしていきたい。
- ・「危機管理面の強化」：減災教育の継続と防災グッズを個別に準備したことで、災害避難時に役立った。
ヒヤリハット報告を意識することで、安全への意識も高まった。

3) クラス編成

令和8年3月31日 現在

年齢	クラス	男	女	計	職員	年齢	クラス	男	女	計	職員
0歳児	みかん	5	2	7	保育教諭 3人	3歳児	めろん	5	11	16	保育教諭 1人
1歳児	もも	7	5	12	保育教諭 2人	4歳児	ばなな	7	9	16	保育教諭 1人
2歳児	いちご	4	5	9	保育教諭 2人	5歳児	ぶどう	7	11	18	保育教諭 1人
						合計		35	43	78	保育教諭 10人

4) 交流会

- | | | | |
|--------|------------|---|------------------|
| 5月 19日 | さつまいものつるさし | } | 3・4・5歳児 ふれあい農園 |
| 6月 9日 | じゃがいも掘り | | |
| 10月 1日 | さつまいも掘り | | |
| 2月 16日 | じゃがいもの植え付け | | (2・3・4歳児 ふれあい農園) |

5) 火災・地震・消火訓練及び不審者対応訓練実施報告

①園児の安全確保

②職員の危機管理意識(責任・自覚を持ち適切な判断のもと迅速な行動をとる)

6) 内部研修

- (4月～5月) 本園の理念・方針を共通理解する。目指す子どもの姿と園目標についての話し合い。
- (6月～9月) 保健衛生・健康安全・特別支援教育・危機管理についての話し合いと実施訓練。
- (10月～3月) 保育の標準的な実施方法について、自己評価・外部評価結果からの課題、改善の検討。
次年度についての話し合い。

3、一時預かり事業

実施状況 職員体制が整わず休止中だが、状況に応じて対応をしていく予定。

4、子育て支援センター事業

3月現在利用延数 1934人。引き続き利用者一人ひとりに寄り添い丁寧な対応をしていく。

第二号第四様式(第二十三条第四項関係)

おおぶち そよ風こども園拠点区分事業活動計算書

(自) 令和 7年 4月 1日 (至) 令和 8年 3月31日

(単位: 円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益 0072 保育事業収益	126,806,475	129,730,946	-2,924,471
	サービス活動収益計(1)	126,806,475	129,730,946	-2,924,471
	費用 0015 人件費	86,082,079	86,478,805	-396,726
	0016 事業費	12,467,994	11,411,541	1,056,453
	0017 事務費	25,909,785	25,602,179	307,606
	0027 減価償却費	15,932,769	17,230,776	-1,298,007
	0028 国庫補助金等特別積立金取崩額	-13,997,884	-15,262,754	1,264,870
	サービス活動費用計(2)	126,394,743	125,460,547	934,196
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	411,732	4,270,399	-3,858,667
サービス活動外増減の部	収益 0092 借入金利息補助金収益	0	620,000	-620,000
	0093 受取利息配当金収益	173,683	142,011	31,672
	0098 その他のサービス活動外収益	1,408,550	1,274,605	133,945
	サービス活動外収益計(4)	1,582,233	2,036,616	-454,383
	費用 0033 支払利息	0	620,000	-620,000
	0038 その他のサービス活動外費用	1,405,900	1,175,700	230,200
	サービス活動外費用計(5)	1,405,900	1,795,700	-389,800
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	176,333	240,916	-64,583
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	588,065	4,511,315	-3,923,250
特別増減の部	収益 0100 施設整備等補助金収益	0	31,000,000	-31,000,000
	0111 その他の特別収益	69,000	0	69,000
	特別収益計(8)	69,000	31,000,000	-30,931,000
	費用 0042 固定資産売却損・処分損	0	1	-1
	0044 国庫補助金等特別積立金積立額	0	28,890,252	-28,890,252
	特別費用計(9)	0	28,890,253	-28,890,253
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	69,000	2,109,747	-2,040,747
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	657,065	6,621,062	-5,963,997
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	35,855,593	29,234,531	6,621,062
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	36,512,658	35,855,593	657,065
	基本金取崩額(14)	0	0	0
	その他の積立金取崩額(15)	0	0	0
	その他の積立金積立額(16)	0	0	0
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	36,512,658	35,855,593	657,065

資金収支内訳表

(自)令和7年4月1日(至)令和8年3月31日

(單位:円)

勘定科目		部 門 別										合 計					
取 入	支 出	本部	特異	おおつか町 (委託)	特異	おおつか町 (ユニット型)	おおつか町 シオースタイル	デイリースセン ター	おおつか町 外理支店等	おおつか町 外理支店等	山崎デパート センター	小瀬多摩運動場 等	グルーポ ホーム	よーか、ぬい こども園	おおぶち、そ こども園	子育て支援セン ター	合 計
事業活動	事業活動	0	214,580,089	0	149,738,079	32,644,761	67,839,918	0	23,607,807	0	32,663,586	85,230,135	0	193,602,550	117,758,475	8,048,000	631,654,353
0100 介護保険事業収入	0100 介護保険事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0101 障害事業収入	0101 障害事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0200 多岐利息当金収入	0200 多岐利息当金収入	3,250	447,068	20,942	0	545,655	120,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	320,409,025
0201 その他の収入	0201 その他の収入	0	678,954	47,469	0	27,200	30,350	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,431,078
事業活動	事業活動	3,250	215,726,051	149,806,421	33,217,516	67,780,268	25,562,683	23,689,927	1,318	32,724,282	85,230,244	195,810,239	119,337,051	2,087,209	1,404,893	3,557	938,016,497
0129 人件費支出	0129 人件費支出	646,000	125,564,670	104,950,813	22,185,370	44,804,505	22,041,123	20,419,123	-708,715	39,120,375	67,881,711	133,995,926	78,612,975	7,046,856	7,046,856	7,046,856	656,552,500
0130 事業費支出	0130 事業費支出	0	34,801,078	19,550,507	7,026,304	6,230,983	557,975	69,500	3,715,394	12,838,586	21,948,593	11,432,006	1,035,988	120,307,232	1,035,988	1,035,988	120,307,232
0131 事務費支出	0131 事務費支出	457,597	36,120,793	20,091,180	6,375,580	5,390,868	3,751,336	3,364,997	2,061,346	3,123,575	30,381,990	24,312,765	942,192	143,426,580	143,426,580	143,426,580	143,426,580
0136 利用者負担軽減額	0136 利用者負担軽減額	0	672,215	635,513	72,878	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,390,606
0137 支払利息支出	0137 支払利息支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,862,973
0138 その他の支出	0138 その他の支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,083,543	0	1,995,720	1,335,900	0	3,336,720
事業活動	事業活動	1,033,597	197,148,754	145,413,757	35,560,132	59,416,456	26,350,092	23,853,820	1,354,631	36,891,756	87,529,495	187,624,829	115,694,646	9,025,036	9,025,036	9,025,036	926,866,711
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	-1,100,347	18,587,277	-4,392,664	-2,442,516	8,363,812	-787,319	-163,693	-1,352,813	-4,167,464	-2,204,251	8,385,410	3,642,405	26,621	26,621	26,621	31,149,786
取 入	取 入	0	2,171,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,171,000
0204 施設整備等補助金収入	0204 施設整備等補助金収入	0	2,171,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,171,000
0143 設備資金借入金元金償還支出	0143 設備資金借入金元金償還支出	0	0	6,393,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20,333,000
0144 固定資産取得支出	0144 固定資産取得支出	0	10,381,800	6,425,430	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25,070,924
0146 ファイナンス・リース債務の返済支出	0146 ファイナンス・リース債務の返済支出	0	1,542,846														